

弊会、一般社団法人日本ベビーダンス協会が行っております、赤ちゃんを抱っこして抱っこして踊る「ベビーダンス」のレッスンでは、子どもの安全を守るため、下記のことにご注意を払い指導を行っております

・ベビーダンス対象者

健康な首の座った生後3か月から24か月頃の赤ちゃんとその家族

クラス前後には、体温測定などの健康チェックを行い、健康状態のデータを把握しています。妊娠中の方は、抱っこでのご受講をご遠慮いただいております。受講者のかかりつけ医の判断に基づいてご参加いただいております。

・赤ちゃんの首のサポート

ダンスレッスン中は、常に赤ちゃんが自然な姿勢(Cカーブ)を保てるよう、赤ちゃんの首を保護者が常にサポートして行っています。

赤ちゃんの首の位置や向きは、赤ちゃんが希望する自然な状態に自由に保たれていますが、安全の為、ダンスレッスン中は常に首のサポートを行います。そのため、赤ちゃんが寝てしまった場合にも、適切な位置に保持されます。

認定インストラクターは、ダンス中にも必要に応じて随時、赤ちゃんの首のサポート指導を行います。

・抱っこの方法

ベビーダンスを踊る際には、必ず抱っこ紐、または、おんぶ紐を用いて行い抱っこするよう指導を行っております。

抱っこ紐は、各抱っこ紐メーカーが推奨する使用方法を、保護者の方々にお守りいただいております。

抱っこ紐は、赤ちゃんと保護者とが、苦しくない程度にぴったりと装着し、理学療法士が監修する適切なポジションで装着します。

認定インストラクターは、レッスン前には、装着指導と装着確認を行い、ダンス中にも必要に応じて随時、装着指導を行います。

・保護者の姿勢

保護者の基本姿勢の指導を行っております。

耳肩腰足首を一直線に保ち、赤ちゃんや保護者本人の体重の重みを、身体のどこか一部の部位にかからぬよう、身体に負担の無い姿勢をお伝えしております。

・ベビーダンスのテンポ

ベビーダンスクラスでは、安全に運動するために、ベビーダンスのルーツとなる社交ダンスよりゆったりとした協会規定のテンポで行っております。

インストラクターが行うQing号令にも無理がないよう、インストラクターは号令の出し方についてもトレーニングを行っております。

・水分補給

レッスン中は、プログラムが変わるごとに、室内の温度調整や、水分補給のお声がけをしています。

・オリジナルステップ

ベビーダンスは、上体を静かに保って優雅に踊る本格的な社交ダンスをルーツとしています。そのため、社交ダンス同様に、上半身を静かに保ち、日常的な歩く動作を中心に構成されています。

大人が赤ちゃんへの注意が散漫にならないように、参加者同士の身体的な接触を避けて行なっています。

ベビーダンスの際には、子ども1人につき保護者1人以上でレッスンを行なっています。

・子どもの権利

ベビーダンスは、大人と子どものペアでのコミュニケーションダンスとして踊ります。

赤ちゃんも大人と同様に、大切なダンスパートナーとしてひとりの人間として尊重されます。

子どもの発達段階によっては、ベビーダンスクラス中に抱っこを嫌がって抱っこ紐から降りたがる赤ちゃんもいますが、その時には、大切なパートナーとして赤ちゃんの意思が尊重され、抱っこ紐から降ろされ、子どもの自由と安全が常に尊重されます。

・専門家が監修

ベビーダンスは、社交ダンス・乳幼児を熟知した小児専門医師でもあるスポーツドクター、心理学者、理学療法士が監修し、産後女性や小さな赤ちゃんも安心して参加できるプログラムとなっています。

・インストラクター

認定インストラクターは、協会が定める一定の基準をクリアしています。

認定合格後も、毎月協会が実施するレクチャーを受講し、子育て支援者、プロダンスインストラクターとしてのスキル向上に日々努めています。

ベビーダンスは、親子の絆作りを目的とするため、認定インストラクターが、赤ちゃんに直接触れてマッサージなどを行うことはありません。

赤ちゃんのお世話などは、保護者ご自身で行なっていただいています。

以上